

因北中学校 研究だより

学びを深める
～互恵的な授業づくりを通して～

令和2年1月28日（火） 第5号

●1月21日（火）に開催された第3回「学びの変革」推進協議会について報告します。

1 先進地域・グループの実践報告について

- (1) 学力向上推進地域（美木中・三成小・美木原小）
 - ・ターゲット生徒を設定し、変容を目指した取り組みをしている。
 - ・AD（家庭教育支援アドバイザー）を活用している。
 - ・生徒のいいところを積極的に評価している。（教科指導と生徒指導の一体的な取り組み）
- (2) 理科教育実践グループ研修
 - ・単元の作り方を工夫し、仮説設定時間の確保により、生徒の主体性を高めようとしている。
 - ・複数校の教師がリレー式に研究を受け継ぎ、深めていく取り組みである。
 - ・共同で授業研究・授業づくりを話し合っていくことが「楽しい」と感じられている。

2 今年度の実践のまとめについて

- (1) 開発単元一覧の報告（1月31日締め切り）
 - ・本年度、皆さんが開発した単元の一覧を市教育委員会へ報告します。（各教科等）
- (2) 「学びの変革」に係る実践報告（3月13日締め切り）
 - ・本年度の研究報告を市教育委員会へ報告します。
- (3) 総合的な学習の時間に係る指導案のHPへのアップ（3月26日締め切り）
 - ・本年度リニューアルしたり新規作成したりした指導案をHPにアップします。1年生の指導案を掲載する予定です。

3 来年度の方向について(市教育委員会から)

- (1) カリキュラムマネジメントにもとづく授業の実施
 - ・資質・能力の評価に関する実践を行う。
 - ・資質・能力を育成するためのカリキュラムマネジメントの実践を行う。
- (2) 課題発見・解決学習をはじめとした「主体的な学び」を促す授業の実践
 - ・ゴールイメージを明確にする。
 - ・「一人でじっくり考える時間→対話して深める時間→一人でじっくり振り返る時間」で構成する。
 - ・振り返りの質を向上させる。

◆3学期は「話し合い」の質を高められるよう工夫して単元づくりや授業展開の改善に取り組んでおられることと思います。市教育委員会から示されている「来年度の方向」をご自身の授業に置き換えて考えながら、次年度のシラバス作成に反映できるところは反映させていただければ幸いです。大切なことは、一人一人の生徒が「今日、勉強できてよかった!」と思えるような授業を創ることです。「互恵的な学び」が深まるよう、お互いに知恵を出し合っていきましょう!